



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 ミナトホールディングス株式会社
 コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 若山 健彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門長 (氏名) 三宅 哲史

TEL 03-5847-2030

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (録画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,278	8.1	51		92		150	168.9
2020年3月期第2四半期	5,742	32.5	66	234.7	66	19.1	56	15.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 293百万円 (661.8%) 2020年3月期第2四半期 38百万円 (41.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	20.31	
2020年3月期第2四半期	7.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,458	3,437	26.8
2020年3月期	8,485	3,000	34.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,343百万円 2020年3月期 2,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		4.00	4.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	24.2	180	41.1	120	60.1	350	25.3	47.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社プリンストン、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,806,014 株	2020年3月期	7,447,914 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	5,544 株	2020年3月期	74,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	7,426,527 株	2020年3月期2Q	7,437,162 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、11月10日に当社ホームページにて四半期決算補足説明資料を、11月11日に四半期決算説明動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響に伴い、景気が急速に悪化する中、経済活動の再開を受け、持ち直しの動きも出始めています。しかしながら、新型コロナウイルスの収束ははまだ見通しは立っておらず、経済への影響が長期化することが懸念され、先行き不透明な状況が続いています。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き、関係者の皆さま及び従業員の安全・健康確保を最優先に掲げ、感染症予防対策を実施しながら、「テクノロジー・イノベーションで明日を創る」ことを目指し、事業拡大に向けた積極的な企業活動を行いました。

当第2四半期連結累計期間の業況は、新型コロナウイルスの影響による営業・販売機会の大幅な減少や顧客企業の計画見直し等の要因により、売上高5,278百万円（前年同期比8.1%減）と減収になりました。

売上高の減少に加えて、新規事業における開発費の増加、当第2四半期に実施しました株式会社プリンストン（以下、「プリンストン」という。）の株式取得及び株式会社パイオニア・ソフト（以下、「パイオニア・ソフト」という。）の優先株引受に係る一時的な費用が発生したこと等により、営業損失は51百万円（前年同期は営業利益66百万円）、経常損失は92百万円（前年同期は経常利益66百万円）で減益となりましたが、当社保有投資有価証券の売却益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は150百万円（前年同期比168.9%増）と大幅な増益となりました。

なお、当社は2020年8月、事業基盤の強化や収益力の向上を目的として、プリンストンの株式を取得し、連結子会社化したしました。プリンストンは、DX（デジタル・トランスフォーメーション）分野やウィズコロナ時代の新しい働き方を支えるツールとしても活用が大いに期待されているビデオ会議システム事業を手掛けるほか、eスポーツ関連製品、メモリー、PC周辺製品等も取り扱っており、今後、当社グループの既存事業とも連携を図りながら、更なる成長に向けて注力してまいります。当第2四半期連結累計期間におきましては、プリンストンの四半期貸借対照表を四半期連結貸借対照表に取り込んでおりますが、四半期連結損益計算書はプリンストンの業績を含んでおりません。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①メモリーモジュール関連

主要製品のDIMM(Dual Inline Memory Module)及びSSD(Solid State Drive)の主要調達部材であるメモリー製品のDRAM、NANDにつきましては、新型コロナウイルスの収束が見込めず先行きへの不透明感が強まっていることや、データセンター及びエンタープライズのサーバー向けの需要が弱含んでいることなどを背景に、価格は引き続き下げ基調にあります。5G（次世代通信規格）関連や新型スマートフォン、次世代ゲーム機関連向け等の需要に期待があるものの、市況が回復するには至っておりません。

当第2四半期連結累計期間におきましては、テレワーク関連製品としての個人用PC用途向けメモリーモジュールは引き続き需要があり、対前年同期で売上は増加しましたが、産業用途向けメモリーモジュールにおいては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減を要因とした顧客企業の在庫調整や減産、投資遅延が発生したこと等の影響を受け、売上高は前年同期と比べ減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は4,434百万円（前年同期比7.4%減）、セグメント利益（営業利益）は202百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

②デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業

デバイスプログラミング関連につきましては、新型コロナウイルスの影響を受け、主要取引先各社が生産計画の大幅な見直しや設備投資の抑制を継続していること等からプログラマ本体及びアダプターの受注が振るわず、売上高は全般的に前年同期を下回る実績となりました。ROM書込みサービスにおきましては、今後の需要増加に備えて新たにクリーンルーム増築や大型自動プログラミングシステム（ハンドラ）の導入等の設備投資を行っておりますが、当第2四半期連結累計期間においては関連する費用負担が先行する結果となりました。

またディスプレイソリューション関連につきましては、新たに開発した非接触型のタッチパネル製品を含めた新製品投入等の積極的な展開を行う一方で、海外ATM向けタッチパネルの受注減や顧客企業による設備投資の抑制等の影響を受け、タッチパネル及びデジタルサイネージともに減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は493百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント損失（営業損失）は40百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

③システム開発関連事業

主力ビジネスである技術支援型（人材派遣）案件及び受託開発案件につきましては、新型コロナウイルスの影響により、顧客企業において内製化が進んだことや予算縮小・開発時期の延期等の措置に伴い、稼働時間の短縮等が発生したことから減収となりました。緊急事態宣言発令前後からシステム開発関連事業に関連する従業員の7割について在宅勤務を基本方針として対応していることから、販管費は引き続き減少しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は281百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益（営業利益）は22百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

なお当社は、システム開発関連分野における中長期的な成長を目指し、当該事業を手掛ける当社子会社の株式会社イーアイティー（以下、「EIT」という。）とともに、2020年8月、パイオニア・ソフトと資本業務提携を行いました。今後はパイオニア・ソフトとEITとの将来的な経営統合も視野に入れ、IT技術者派遣やシステム受託開発等の広範な業務で相互協力してまいります。

④その他事業

当セグメントでは、高性能2眼カメラセンサーの開発・推進を行うインテリジェント・ステレオカメラ（ISC）事業、ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース及びマーケティングのコンサルティング事業、企業の買収等の斡旋や仲介及びこれらに関するコンサルティング事業、太陽光発電等の環境エレクトロニクス関連事業等を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ウェブサイト構築に係る事業が順調に推移したほか、前年に新たに太陽光発電所が稼働したことから売電収入が増加いたしました。

新規事業として取り組んでいるISC事業につきましては、自動搬送装置（AGV）等における障害物監視センサーや位置情報検出システムの開発、パソコン等の端末を使用せずカメラ本体のみで障害物を検知する機能を持たせた組み込み用の新型機の開発など、引き続き大手企業との実証実験を含めた研究開発を行っております。ただ新型コロナウイルス感染拡大による顧客企業の開発スケジュール見直し等の影響もあり、今年度中を想定していた商用機出荷計画が遅延する一方で、開発費の計上が先行しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は85百万円（前年同期比12.5%増）となったものの、ISCに係る開発費の計上等により、セグメント損失（営業損失）は18百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて45.2%増加し、9,661百万円となりました。これは、商品及び製品が1,186百万円、現金及び預金が428百万円、受取手形及び売掛金が728百万円、前払費用が466百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて52.8%増加し、2,795百万円となりました。これは、のれんが234百万円、投資有価証券が260百万円、有形固定資産が319百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて46.8%増加し、12,458百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて77.9%増加し、7,303百万円となりました。これは、短期借入金が1,573百万円、1年以内返済予定の長期借入金が237百万円、未払金が223百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて24.4%増加し、1,716百万円となりました。これは、長期借入金が125百万円、社債が137百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて64.5%増加し、9,020百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14.6%増加し、3,437百万円となりました。これは、当四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が150百万円、その他有価証券評価差額金が144百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2020年8月28日に公表いたしました2021年3月期連結業績予想からの変更はありません。なお、この連結業績予想に変化が生じると見込まれる場合には適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,899,477	2,327,529
受取手形及び売掛金	2,172,071	2,900,355
営業投資有価証券	—	186,571
商品及び製品	1,039,746	2,226,677
仕掛品	53,694	43,859
原材料及び貯蔵品	1,107,453	755,936
前渡金	204,008	381,433
前払費用	23,562	489,639
その他	170,106	365,741
貸倒引当金	△15,809	△16,533
流動資産合計	6,654,313	9,661,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	979,109	1,036,290
減価償却累計額	△863,146	△893,044
建物及び構築物(純額)	115,963	143,245
土地	635,450	635,450
その他	439,096	923,747
減価償却累計額	△206,499	△399,396
その他(純額)	232,596	524,351
有形固定資産合計	984,010	1,303,047
無形固定資産		
のれん	37,800	271,887
リース資産	6,720	4,093
その他	26,794	44,665
無形固定資産合計	71,315	320,646
投資その他の資産		
投資有価証券	491,439	751,854
関係会社株式	5,990	—
敷金及び保証金	233,458	303,421
破産更生債権等	40,794	40,314
繰延税金資産	13,061	45,457
その他	34,944	75,936
貸倒引当金	△45,594	△44,790
投資その他の資産合計	774,093	1,172,193
固定資産合計	1,829,419	2,795,887
繰延資産		
社債発行費	1,356	1,085
繰延資産合計	1,356	1,085
資産合計	8,485,089	12,458,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,102,088	1,256,293
1年内償還予定の社債	30,000	98,000
短期借入金	2,440,000	4,013,400
1年内返済予定の長期借入金	309,974	547,492
前受収益	1,789	764,626
未払金	101,929	325,389
リース債務	7,340	7,863
未払法人税等	54,788	108,210
賞与引当金	26,420	63,780
製品保証引当金	689	408
その他	29,718	118,522
流動負債合計	4,104,738	7,303,987
固定負債		
社債	45,000	182,000
長期借入金	1,071,432	1,197,048
退職給付に係る負債	92,011	97,653
リース債務	2,692	10,928
繰延税金負債	70,832	130,979
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	3,922	3,894
固定負債合計	1,380,320	1,716,932
負債合計	5,485,059	9,020,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	993,003	1,057,998
資本剰余金	1,376,532	1,452,342
利益剰余金	432,083	553,452
自己株式	△30,010	△1,864
株主資本合計	2,771,608	3,061,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,645	361,169
土地再評価差額金	△73,981	△73,981
為替換算調整勘定	△3,720	△5,360
その他の包括利益累計額合計	138,943	281,827
新株予約権	89,478	89,727
非支配株主持分	—	3,779
純資産合計	3,000,030	3,437,263
負債純資産合計	8,485,089	12,458,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,742,830	5,278,611
売上原価	5,012,069	4,671,153
売上総利益	730,761	607,458
販売費及び一般管理費	664,655	658,689
営業利益又は営業損失(△)	66,105	△51,230
営業外収益		
受取賃貸料	8,779	8,259
持分法による投資利益	43,151	—
補助金収入	—	4,690
その他	4,784	4,141
営業外収益合計	56,715	17,091
営業外費用		
支払利息	13,721	10,056
為替差損	37,159	31,973
その他	5,378	16,385
営業外費用合計	56,259	58,415
経常利益又は経常損失(△)	66,561	△92,554
特別利益		
投資有価証券売却益	—	281,066
その他	—	3,532
特別利益合計	—	284,599
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	66,561	192,044
法人税、住民税及び事業税	20,239	45,390
法人税等調整額	2,138	△3,962
法人税等合計	22,378	41,428
四半期純利益	44,183	150,615
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,920	△236
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,103	150,852

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	44,183	150,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,959	144,524
為替換算調整勘定	△1,697	△1,639
その他の包括利益合計	△5,657	142,884
四半期包括利益	38,525	293,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,445	293,737
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,920	△236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	66,561	192,044
減価償却費	49,286	59,154
のれん償却額	18,900	18,900
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	△1,367
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,519	264
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△190	△281
受取利息及び受取配当金	△1,290	△2,079
支払利息	13,721	10,056
持分法による投資損益 (△は益)	△43,151	—
売上債権の増減額 (△は増加)	40,085	701,828
たな卸資産の増減額 (△は増加)	196,206	492,417
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△175,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	335,676	△339,845
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△281,066
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,799	5,641
その他	51,700	△314,067
小計	733,831	365,731
利息及び配当金の受取額	1,290	2,079
利息の支払額	△13,935	△10,173
法人税等の支払額	△41,746	△50,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,439	306,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,500	△6,000
有形固定資産の取得による支出	△103,298	△210,920
無形固定資産の取得による支出	△8,028	△1,692
投資有価証券の取得による支出	△10,713	△83,844
投資有価証券の売却による収入	—	297,966
敷金及び保証金の差入による支出	△98	△212
敷金及び保証金の回収による収入	—	700
貸付金の回収による収入	84	—
保険積立金の解約による収入	17	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△417,662
その他	3,788	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,748	△421,665

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,334,457	600,000
長期借入金の返済による支出	△260,654	△202,832
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△3,606	△3,826
株式の発行による収入	—	129,400
自己株式の取得による支出	△20,189	—
配当金の支払額	△13,675	△29,493
非支配株主からの払込みによる収入	15,000	—
非支配株主への配当金の支払額	△1,498	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,634,081	478,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,198	1,433
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,087,588	364,975
現金及び現金同等物の期首残高	3,340,305	1,880,966
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	11,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,252,716	2,257,017

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月2日付で、個人3名から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ64,995千円増加しております。

また、2020年9月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式80,000株の処分を行い、自己株式が28,145千円減少し、資本剰余金が10,814千円増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,057,998千円、資本剰余金が1,452,342千円、自己株式が1,864千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,783,735	577,966	308,309	5,670,010	72,819	5,742,830	—	5,742,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,238	3,090	5,012	11,341	3,163	14,504	△14,504	—
計	4,786,973	581,056	313,322	5,681,352	75,982	5,757,335	△14,504	5,742,830
セグメント利益又は 損失(△)	242,082	△5,614	21,603	258,072	247	258,320	△192,214	66,105

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△192,214千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,429,151	493,173	279,378	5,201,703	76,908	5,278,611	—	5,278,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,289	—	2,116	7,405	8,581	15,987	△15,987	—
計	4,434,440	493,173	281,494	5,209,108	85,490	5,294,599	△15,987	5,278,611
セグメント利益又は 損失(△)	202,634	△40,105	22,936	185,465	△18,761	166,704	△217,934	△51,230

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業・モバイルアクセサリ事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△217,934千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメントの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、株式会社プリンストンの株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メモリーモジュール事業」で2,333,345千円、「その他事業」で1,734,086千円、セグメント資産が増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社プリンストンの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、のれんが252,987千円増加しております。なお、みなし取得日を8月31日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、貸借対照表のみ連結しております。